

ハンドコントロールユニットの使用報告

ポリオ友の会東海 竹中 幸彦

右下肢や両下肢障害がある方が自動車運転する場合には、自動車ディーラーなどで改造してもらい、左足アクセルや手動アクセル装置を装着してもらい使用していると思います。私は、右足が不自由なので左足アクセルへの改造車に乗っています。

今回紹介する、(株)ニコ・ドライブのハンドコントロールユニットは、オートマチック車のアクセルペダルとブレーキペダルにネジで部品を取り付ける事により、腹の前に伸びるT字型のバーを手で押すことによりブレーキを、引くことによりアクセルを踏むことができる装置です。



(製品のイメージ HPより)

一切の改造や工具も無しに5分ほどで装着でき、運転できることは非常に驚きです。また、軽量で持ち運びも出来る設計で、日本国内で開発されたもので、非常に安心感があることも興味を持ちました。

私自身、自動車の修理の時の代車やレンタカー・友達の車・会社の車などを運転することは、全く無理だとあきらめていました。旅先でレンタカーを借りてドライブする旅の楽しみ方が出来る事や、事故や故障などで、自分の車が急に使えなくなった事など考えると非常に興味深い製品だと思い購入を考えました。

購入にあたり気になることが一つだけあります。私の免許条件は、AT車で左足アクセル限定となっています。左足アクセルの免許条件でアクセル、ブレーキを手で操作することが、運転免許の条件違反になるという心配です。そこで、購入前に会社に確認したところ、以下の回答をいただきました。

「AT車で左アクセルに限る」条件の方は手動運転装置を使った運転が認められております。

理由としましては、左アクセルの方は手動運転装置をご利用の方よりも障害が軽いとみられており、私自身、定期的に警察庁に出向き障害者の運転に関する情報交換をしており、これまでに確認していた内容にも入っておりますのでご安心下さいませ。

以前にも同様のお問い合わせがあり当該県の免許センターにある適性相談室と警察庁に直接確認をさせて頂いております。

反対にアクセルブレーキは手動式に限るの免許条件の方が左アクセル車を運転する事は問題になります。運転免許に条件が付けられた内容よりも重い障害の方がそれより軽い障害の条件の改造が施されているクルマを運転する事については認められていないようです。

運転免許の条件は変更されず左アクセル限定条件のままハンドコントロールを使いくださいませ。前例を確認させて頂いたところ、左足アクセルの免許条件で運転されている方も5名以上いらっしゃいました。

ホームページで確認すると、会社の社長さん自身が車椅子利用者で、私たちと同じような自動車に関する悩みを持っていて、それを解決するためにこの商品を開発したことを知り、購入を決定しました。

商品はすぐに届きましたが、自動車のアクセルとブレーキを手で操作することを、いきなり公道で練習する事も気が引けます、自動車教習所で持ち込み練習なども考えていましたが、名古屋市の河川敷にあった古い自動車学校の跡地を障害者団体が管理していて、平日は障害者の人々に貸し出し、自分の車を持ち込み練習ができる施設があります。

土日は企業の交通安全研修やジムカーナなどに利用されている施設です。古くて狭い、自動車教習コースですが、今回の練習にはピッタリです。



(自家用車に取り付けたところ)

コース内で、自分の車の左足アクセルユニットを外し、ハンドコントロールユニットを取り付けいざスタートです。

右手にハンドルを握り、左手でアクセルとブレーキを操作します。恐る恐る左手を引くと、のろのろとスタートします。直線でスピードを上げコーナーでは、アクセルを離しハンドルに両手を添えれば、問題なしに外周路はクリアです。ブレーキをかけて止まるのは、ギク

シヤクします、手でブレーキをかけているのだから慣れが必要になりますね。



(練習の様子、手が逆です)

次に、坂道発進。これは若干慣れが必要です。先述のように押してブレーキ、引いてアクセルの二つの操作を同じコントロールレバーですることになるので、ブレーキを離す、アクセルを踏む（実際には、ハンドコントローラーを押すから、引く）という動作をできるだけ早く丁寧に行わなければなりません。教習場くらいの坂ではAT車自体ブレーキを離しても下がることはないのですが、急坂の発進は、注意が必要だと感じました。

次に交差点やクランク、S字カーブですが、細かいアクセルワークを左手でしようとするとうハンドル操作が片手では間

に合わない時もあると感じました。手動運転の車には片手でも操作しやすいハンドルスピナーという装置がついています、片手でもハンドルが回すことができるものです。進むだけならばブレーキを離すとAT車はゆっくりと進むのでハンドル操作主眼を置けば進みますが、ブレーキをかけるのにも手を使わなければならないので、常時ハンドコントローラーを使うならばハンドルスピナーを買った方がいいかなと思いました。ハンドルスピナーはアマゾンでも2,500円位で買えるので、買っておいてもいいかもしれません。

最後に、駐車です。バックでの駐車や、縦列駐車など挑戦しましたが、バックするときの手1でのアクセル操作が難しいです。特に縦列駐車は、大きくハンドルを切りながら、アクセルとブレーキを操作するのは、結構忙しいです。両下肢障害の方は普段こんなに忙しい操作を縦列の時にしているのだと感心しつつ、町中で使用するときには縦列駐車は諦めようと思いました。

教習所帰り道、ハンドコントロールを使って家路についたのですが、さすがに練習しただけあってそんなに怖い思いもせず楽しくドライブできました。

現在、左足アクセル車に乗っている私にとって、この装置が毎日の運転を代用できるものではありませんが、代車やレンタカーなどで使用するために持ってい

ることは決して無駄ではないものだと思います。

写真は、宮古島に旅行に行ったときのものです。レンタカーのフィットにハンドコントロールユニットを装着して、宮古島、伊良部島など島巡りをしました。

特に危ない思いもせず快適に旅行ができました。

この装置を利用する事により飛行場や駅からのレンタカー利用ができるようになり旅先での行動範囲が広がりました。

ちょっと高い買い物ですが、自動車購入時に合わせて買えば補助も受けられる可能性もあるようですし、おすすめのものだったのでご紹介しました。



(伊良部大橋)



(レンタカー)



(ウミガメと記念撮影)

購入先

株式会社ニコ・ドライブ

〒210-0007 神奈川県川崎市川崎区駅前本町 11 番地 2

川崎フロンティアビル 4 階

e-mail: info@nikodrive.jp

ホームページ

<https://nikodrive.jp/>